

会 議 記 録

会議名 予算特別委員会総務分科会

開催日 令和8年3月5日(木) 開会 午前11時25分

閉会 午後 零時16分

出席者 委 員 分科会長 小平 啓 佑

小太刀 孝 之 小久保 かおる 松 本 喜 一

梅 澤 米 満 天 谷 浩 明 小 堀 良 江

傍 聴 者 雨 宮 茂 樹 大 浦 兼 政 針 谷 育 造

古 沢 ちい子 大 谷 好 一 内 海 まさかず

針 谷 正 夫 福 田 裕 司 大阿久 岩 人

白 石 幹 男 関 口 孫一郎

事務局職員 事務局 長 森 下 義 浩 議 事 課 長 野 中 繭実子

係 長 小 林 康 訓 主 任 齊 藤 千 明

委員会条例第21条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

総 合 政 策 部 長	癸 生 川	亘
経 営 管 理 部 長	金 井 武	彦
地 域 振 興 部 長	佐 山 祥	一
危 機 管 理 監	狐 塚 光	紀
会 計 管 理 者	渡 辺 智 恵	子
消 防 長	本 名 義	人
総 合 政 策 課 長	潮 田 美	紀
秘 書 課 長	臼 井	司
広 報 課 長	渡 邊 浩	志
行 財 政 改 革 推 進 課 長	茅 原 洋	一
デ ジ タ ル 推 進 課 長	宇 津 野 薫	朗
危 機 管 理 課 長	北 平 雅	章
力 ー ボ ン ニ ュ ー ト ラ ル 長	小 林 博	己
推 進 課		
総 務 人 事 課 長	佐 藤 正	実
総 務 人 事 課 主 幹	飯 塚 昭	浩
契 約 検 査 課 長	田 村 浩	一
管 財 課 長	奈 良 部	満
財 政 課 長	深 津	勝
税 務 課 長	山 岸 良	郎
税 務 課 主 幹	出 井 章	裕
収 税 課 長	金 子 博	文
地 域 政 策 課 長	鈴 木 邦	彦
地 域 政 策 課 主 幹	青 木 稔	彦
大 平 地 域 づ くり 推 進 課 長	渡 辺 由	夫
藤 岡 地 域 づ くり 推 進 課 長	安 塚 欣	也
都 賀 地 域 づ くり 推 進 課 長	島 田 和	行
西 方 地 域 づ くり 推 進 課 長	安 達 博	美
岩 舟 地 域 づ くり 推 進 課 長	篠 崎 雅	一
蔵 の 街 課 長	一 条 嘉	之
ス ポ ー ツ 課 長	大 阿 久	剛
渡 良 瀬 遊 水 地 課 長	松 本 佳	久

消 防 総 務 課 長
消 防 総 務 課 主 幹
予 防 課 長
警 防 課 長
通 信 指 令 課 長
消 防 第 1 課 長
消 防 第 2 課 長
選挙管理委員会事務局次長
監 査 委 員 事 務 局 次 長
議 事 課 長

小 川 信 幸
関 宏
田 村 秀 彦
名 渕 恭 司
荒 井 進
長 江 幸 一
荒 川 浩 明
佐 藤 啓 子
金 子 佳 世 子
野 中 繭 実 子

令和 8 年第 2 回栃木市議会定例会
予算特別委員会総務分科会議事日程

令和 8 年 3 月 5 日 総務常任委員会終了後 全員協議会室
日程第 1 議案第 8 号 令和 8 年度栃木市一般会計予算（所管関係部分）

◎開会及び開議の宣告

○分科会長（小平啓佑君） ただいまの出席委員は7名で、定足数に達しております。

ただいまから予算特別委員会総務分科会を開会いたします。

（午前11時25分）

◎諸報告

○分科会長（小平啓佑君） 当分科会に送付された案件は、各分科会議案送付区分表のとおりであります。

◎議事日程の報告

○分科会長（小平啓佑君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

なお、各予算に対する説明は、3月4日に開催された予算特別委員会全体会及び各分科会説明表の送付をもって済んでおりますので、分科会での説明は省略いたします。

また、分科会では質疑のみを行い、討論、表決については、3月17日火曜日に開催される全体会において実施しますので、よろしくお願いいたします。

◎議案第8号の上程、質疑

○分科会長（小平啓佑君） ただいまから議事に入ります。

日程第1、議案第8号 令和8年度栃木市一般会計予算の所管関係部分を議題といたします。

お諮りいたします。本案につきましては、部・局所管ごとに歳入歳出を一括して審査いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（小平啓佑君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

まず、総合政策部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の総合政策部を御覧の上、所管部分のご確認をお願いします。

また、一問一答の方法により予算書のページ数もお知らせ願います。では、お願いします。

天谷委員。

○委員（天谷浩明君） では、最初にやらせてもらいます。

説明表は6ページ、予算書は149ページにあります。情報システム管理費の中の一番最後です。書かない窓口システム整備事業費があります。これについて今回の予算は746万5,000円ということですが、窓口の住民の当たり具合というか、そういうのはどうなのでしょう、お伺いしま

す。

○分科会長（小平啓佑君） 宇津野デジタル推進課長。

○デジタル推進課長（宇津野薫朗君） 書かない窓口、令和7年度の実施分につきましては、市民生活課におけるマイナンバー関係の手続で、昨年10月から開始したところでございます。利用件数を申しますと、これは令和7年12月末までの3か月間の数字になりますけれども、3か月間で2,044件の利用がございました。私どもの直接の所管する窓口ではないので、直接利用者からの声は届いていないのですが、聞きましたところ、大変分かりやすい。それから、申請書を一々書かなくて済むというのは非常にありがたい。特に書き損じもないので、市民の皆さんにとっては非常によい仕組みであるというふうなお褒めの言葉は聞き及んでおります。

以上です。

○分科会長（小平啓佑君） 松本委員。

○委員（松本喜一君） 小平浪平の家なのですけれども、前に聞いたとき大分傷みが……145ページなのですけれども、傷みが激しくて、物置も大分ひどいというような、前聞いた経験があるのですけれども、ツアーで見学なんか来ていますけれども、その辺で改修しないと危険な場所というのはあると思うのですけれども、どのように考えているのだから教えてください。

○分科会長（小平啓佑君） 潮田総合政策課長。

○総合政策課長（潮田美紀君） お答えいたします。

ご案内のとおり、小平浪平顕彰のツアーを開催しておりますが、その際に小平浪平の生家を見学していただいておりますが、生家の中は見学ができないのですけれども、外周を回るような形の見学コースでございまして、その中で生家の一部、若干、人が通る動線上に落ちてくる可能性があるというところで、令和8年度、そこを一部改修する予定はございます。大規模な改修はまだ検討段階ですけれども、そういった当座危険なところにつきましては改修する予定でございます。

○分科会長（小平啓佑君） 松本委員。

○委員（松本喜一君） 前に物置とか何かが大分ひどい状況だと聞いたのですけれども、その辺は改修したのでしょうか。

○分科会長（小平啓佑君） 潮田総合政策課長。

○総合政策課長（潮田美紀君） 作業小屋と呼ばれるところですか、そちらにつきましては筋交い等で補強をいたしました。

○分科会長（小平啓佑君） 小太刀副分科会長。

○副分科会長（小太刀孝之君） 141ページになります。コミュニティFM事業費の中の演奏所設備更新工事費2,750万円という計上でございますけれども、この現状使われている演奏所設備は導入して何年経過しているか。また、機器的に同等のものが入ると思うのですが、その辺について伺いいたします。

○分科会長（小平啓佑君） 北平危機管理課長。

○危機管理課長（北平雅章君） お答え申し上げます。

現在のコミュニティFMのこちらの演奏所ですが、平成27年に整備しまして12年が経過しております。その間、小さな修繕は当然のことながら行ってきたのですが、今回演奏所の機器を入れ替えるというものでございます。当然のことながら、現在放送しているところと放送している内容をそのまま引き継ぐということになりますので、現在と同じ機能を有しているものを入れるということになります。

以上です。

○分科会長（小平啓佑君） 副分科会長。

○副分科会長（小太刀孝之君） この工事期間中というのは、このコミュニティFMの放送は中止になるという考え方でよろしいのでしょうか。

○分科会長（小平啓佑君） 北平危機管理課長。

○危機管理課長（北平雅章君） お答え申し上げます。

放送に支障がないように行っていきたいと考えております。

以上です。

○分科会長（小平啓佑君） ほかにございますか。

天谷委員。

○委員（天谷浩明君） ちょっとシステムの全体のことを聞きたいのですが、先月ですか、2月25日、これはホームページが見られないという、10時から夕方5時半ぐらいまで、何か駄目だったところがあるのですが、このシステムの関係で、そういういろいろサーバーの関係って私よく分からないのですが、そういうものがロックアウトとか、使用停止なんていうこともあるのではないかなとちょっと危惧したのですが、その辺の、ちょっと大きいのですが、対応とかというのは考えがあれば再度お聞きします。

○分科会長（小平啓佑君） 渡邊広報課長。

○広報課長（渡邊浩志君） 所管でありますので、お答えさせていただきます。

25日の件につきましては、ご承知のとおり、サーバーの関係ということでございまして、委託会社からの内容によりますと、外からの攻撃とかではなくて、内部のソフト的な不具合が生じたということで、その生じた理由につきましては、今鋭意確認をしておりますので、不明でございます。

以上でございます。

○分科会長（小平啓佑君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 大きく捉えてのお話なのですが、報告を後ほどしますよなんていうふうに書いてあるので、その後どうなったのかなというふうに思ったので、今お聞きしました。ありがとうございます。

○分科会長（小平啓佑君） 小久保委員。

○委員（小久保かおる君） 163ページの出会いの場創出支援委託費がございます。そのときに、昨年と今年の予算額が一緒なのですが、内容は昨年と同じような内容というふうに理解してよろしいのでしょうか。

○分科会長（小平啓佑君） 潮田総合政策課長。

○総合政策課長（潮田美紀君） お答えいたします。

令和7年度実施いたしました事業につきまして、現在のところ予算額も同じというところで、事業内容もほぼ同様な形で企画しております。

以上です。

○分科会長（小平啓佑君） 小久保委員。

○委員（小久保かおる君） すみません。要望になってしまうかもしれないのですが、市民の方から、この出会いの場創出支援というのがすごく楽しみだというふうなお声を伺います。それなので、ちょっとだけ、もうちょっと楽しい出会いの場ができればいいなというふうに思います。要望です。

○分科会長（小平啓佑君） 要望でいいですか。お答えしますか。

潮田総合政策課長。

○総合政策課長（潮田美紀君） お答えいたします。

この事業は、令和6年度に始めまして、今年度2年度目というところで、随時、2度目になりますので、前年度の実績を踏まえまして、多少工夫を凝らしております。具体的には、4つの段階を踏みまして実施しているわけなのですが、まず初めにスキルアップセミナーというところでオンラインでやると。その後、メタバース空間で交流会を行う。そして、昨年度はその後バスツアーを実施したところなのですが、メタバース、実際顔を合わせないところからの対面というところで、そのギャップがあるのではないかとというところで、そこでその間に体験型イベントということで、今回は3つの、謎解きイベントですとか、スポーツ交流会ですとか、仮面交流会とか、そういった3つの事業を実施しまして、それで実際のバスツアーでより活発に交流してほしいというところの中での工夫をしてございまして、そういったところを皆さんのアンケート等を参考に今後も工夫してまいりたいと考えております。

○分科会長（小平啓佑君） 小久保委員。

○委員（小久保かおる君） この説明というか、企画があると、見ている私たちも何かワクワクして楽しくなってしまうので、今後もよろしくお願いいたします。

○分科会長（小平啓佑君） ほかにございますか。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（小平啓佑君） ないようですので、総合政策部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席をしていただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで執行部の入替えを行います。少しお待ちください。

〔執行部退席〕

○分科会長（小平啓佑君） 質疑に入る前に、3月4日の予算特別委員会の全体会において、回答が保留となった質疑について、執行部から発言の申出がありますので、これを許します。

山岸税務課長。

○税務課長（山岸良郎君） 昨日、森戸委員からの法人市民税納税義務者数に関してのご質問についてお答えをいたします。

令和3年度4,080社、令和4年度4,120社、令和5年度4,166社、令和6年度4,237社、令和7年度4,294社、1.05%の増になっております。

以上です。よろしくお願いいたします。

○分科会長（小平啓佑君） お聞きのとおりでございます。

次に、経営管理部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の経営管理部を御覧の上、所管部分のご確認をお願いします。

また、一問一答の方法により予算書のページ数もお知らせ願います。お願いします。

天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 説明書2ページの下段から4段目です。予算書は52ページ、これは歳入なのですね。地方消費税交付金であります。20億6,100万円ということなのですが、前年度からは上がっているのですけれども、ちょっとこれは全体の話なののですけれども、今消費税の、国会でも話ありますね、いろいろ。これについて、ちょっと予算とは離れるのですが、今後の、いわゆる消費税が2分の1を交付されるということなののですけれども、それについて若干少なくなるのかなというふうには思うのですが、なってみなくては分からないのですけれども、そこら辺の考えが、思惑というか、あればと思います。ちょっと予算から離れてしまいますけれども。

○分科会長（小平啓佑君） 深津財政課長。

○財政課長（深津 勝君） この令和8年度予算につきましては、それを加味していない予算となっております。今後の消費税の取扱いについては、やはり国の動向等を注視しなければならないと思っております。その際、どういうふうになるのかというところについては、すみません。今現在では不透明なところであります。読めないところであります。

○分科会長（小平啓佑君） ほかがございますか。

天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 説明書7ページ、予算書のほうは139ページ、職員研修事業費であります。742万2,000円であります。結構一般質問でも、職員の対応とかでも一般質問でたまに出てくるのですけ

れども、研修で壬生町とこれは共同してやっていますよということなのですからけれども、研修の内容について、ちょっと説明をいただきたいと思います。

○分科会長（小平啓佑君） 飯塚総務人事課主幹。

○総務人事課主幹（飯塚昭浩君） お答えします。

基本的には、委員さんがおっしゃるとおり、壬生町と栃木市で協議会をつくってしまして、そこでやっております。というのがまず1つあります。その中では、当然新採研修や2年目の初任者研修と接遇研修という形で、ある程度基礎の研修をまずやって、ある程度年数たってから、将来どういうふうにやるかという研修とか、コンプライアンス研修とか、そういう専門的な研修となって、あとは個別に県の研修なんかを使って法務関係の研修等をやっております。

○分科会長（小平啓佑君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 回数的にはどのぐらい開催されているのですか。

○分科会長（小平啓佑君） 飯塚総務人事課主幹。

○総務人事課主幹（飯塚昭浩君） 現状で回数まではカウントしていないのですけれども、基本的には30回、協議会の研修と市独自の研修、県の研修とかありますので、いろんな、あとはオンライン研修とかありますので、なかなか何回というのはないのですけれども。

○分科会長（小平啓佑君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） あえて聞いたのは、どうも窓口とかよく言われています。説明が分かりづらいとか。そういうことで、やっぱり立場になって説明してもらいたいということもあるのですけれども、あまり分からない言葉を使われても、市民の方には理解できない場合が多々あると思います。そういう中でどんなような研修をしているのかなと思うのですけれども、だんだん社会情勢が、ちょっと広がってしまいますけれども、かなり変わってきているので、そういうことをちゃんと分かりやすいような研修があるといいのかなというふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○分科会長（小平啓佑君） 小太刀副分科会長。

○副分科会長（小太刀孝之君） 143ページの庁舎管理費でありますけれども、令和7年度に比べまして減額になっております。これは光熱水費、あと電話料、あとは業務委託料が主なものになりますが、減額理由をお示してください。

○分科会長（小平啓佑君） 奈良部管財課長。

○管財課長（奈良部 満君） お答えを申し上げます。

まず1つ目が、本庁舎清掃業務委託料が令和7年度に比べまして132万円ほど減ります。そして、本庁舎光熱水費を若干減らしております。それと、あと工事請負費、これを予算取りしなかったため、減額になっております。

以上でございます。

○分科会長（小平啓佑君） ほかがございますか。

以上ですか。よろしいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（小平啓佑君） ないようですので、経営管理部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで執行部の入替えを行います。少しお待ちください。

〔執行部退席〕

○分科会長（小平啓佑君） 次に、地域振興部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の地域振興部を御覧の上、所管部分のご確認をお願いいたします。

また、一問一答の方法により予算書のページ数もお知らせ願います。それでは、お願いします。

小太刀副分科会長。

○副分科会長（小太刀孝之君） 283ページになります。歴史まちづくり事業費、ここなのですが、令和7年度に比べまして約400万円ほど増額になっておりますけれども、増額理由をお聞きいたします。

○分科会長（小平啓佑君） 一条蔵の街課長。

○蔵の街課長（一条嘉之君） お答え申し上げます。

こちらなのですが、歴史的風致形成建造物補助金がございます。こちらの補助金1件の交付を予定しておるということで増額となっております。

以上です。

○分科会長（小平啓佑君） 小太刀副分科会長。

○副分科会長（小太刀孝之君） そうしますと補助金に当たるのは1か所だけという認識でよろしいのですね。

○分科会長（小平啓佑君） 一条蔵の街課長。

○蔵の街課長（一条嘉之君） そのとおりでございます。現在、見込みで市内の歴史的建造物、こちらを1棟予定しているところでございます。

○分科会長（小平啓佑君） ほかにございませんか。よろしいですか。ほかに質疑はありませんか。

小太刀副分科会長。

○副分科会長（小太刀孝之君） 161ページになります。スポーツ大会出場者激励金等給付事業費となりますが、ほぼ令和7年度と予算は同じとなっておりますけれども、令和7年度の激励金を支払った実績をお伺いいたします。

○分科会長（小平啓佑君） 大阿久スポーツ課長。

○スポーツ課長（大阿久 剛君） お答えを申し上げます。

令和7年度の2月末現在の支払い状況でございますが、申請件数は111件でありまして、給付総額は188万円となっております。

以上です。

○分科会長（小平啓佑君） 小堀委員。

○委員（小堀良江君） 153ページ、コウノトリ生息地環境整備基金積立金、またその下の整備事業費ということなのですが、小山市のほうではコウノトリの赤ちゃんが何回か生まれておりますけれども、栃木市ではまだ一度も赤ちゃんが誕生しないということで、非常に残念なことなのですが、その辺をどのように考えておられるのか。何か足りないことがあるのか、課題等があるのか、どのように捉えているのかちょっとお聞きしたいと思います。

○分科会長（小平啓佑君） 松本渡良瀬遊水地課長。

○渡良瀬遊水地課長（松本佳久君） コウノトリにつきましては、小山市では6年連続ですか、ひなが誕生しているというような状況でございまして、栃木市におきましても、やはりペアができて、営巣はしまして、今年といたしますか、昨年度、1年前ですか、につきましては、昨シーズンにつきましては卵も生まれたのですが、やはり兄弟ペアということがありましたので、擬卵の交換という対応をいたしました。今シーズンにつきましては、先月からやはりペアの鳥が営巣を始めてまして、まだ抱卵とか、そういう状況には至っていないような状況なのですが、今後そういう状況も当然あり得るということでございます。やはり私どもとしても、ひなの誕生というのを心待ちにしているところもございますので、やはり今後につきましても栃木市でひながかえって市民の皆さんにも愛していただけるというような状況になっていけばいいということで、事業を進めているような状況でございます。

以上です。

○分科会長（小平啓佑君） 小堀委員。

○委員（小堀良江君） コウノトリのいろいろな事情があるので、なかなかその辺は、人間が分からない部分もあると思うのですが、市民の方、ひなの誕生を結構心待ちにしていられる方もたくさんいらっしゃると思いますので、引き続きいろいろと研究を重ねていただければと思います。よろしくお願いいたします。

○分科会長（小平啓佑君） 何か補足で。

松本渡良瀬遊水地課長。

○渡良瀬遊水地課長（松本佳久君） そうですね。やはり専門機関とちょっと連携といいますか、ご指導いただきながら進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○分科会長（小平啓佑君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 説明書10ページ、予算書157ページであります。自治会公民館建築等補助金

であります。昨年は200万円だったのですが、今回376万8,000円というふうにあります。ある程度条件等あるかと思いますが、今回の予算を組んだのは、件数がこうで、こんなことをやりますという内容が分かればと思いますが。

○分科会長（小平啓佑君） 青木地域政策課主幹。

○地域政策課主幹（青木稔彦君） 今回の予算組みにつきましては、当初各地域に要望を聞きまして、3件の要望がありまして、それを予算に上げたものでございます。

以上です。

○分科会長（小平啓佑君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 内容をちょっとお聞かせください。

○分科会長（小平啓佑君） 青木地域政策課主幹。

○地域政策課主幹（青木稔彦君） 内容につきましては、ほぼ改修に当たるものでございます。3件ありまして、1件が110万円、もう一件が200万円、もう一件が60万円となっております。

○分科会長（小平啓佑君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 多分新築の場合の上限額か何かがあったかと思うのですが、多分私も200万円だったかなと思うのですが、確認をさせてください。

○分科会長（小平啓佑君） 青木地域政策課主幹。

○地域政策課主幹（青木稔彦君） 上限につきましては、300万円になっています。

○分科会長（小平啓佑君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（小平啓佑君） ないようですので、地域振興部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで執行部の入替えを行います。少しお待ちください。

〔執行部退席〕

○分科会長（小平啓佑君） 次に、消防本部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の消防本部を御覧の上、所管部分のご確認をお願いいたします。

また、一問一答の方法により予算書のページ数もお知らせ願います。

天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 説明書は4ページ、予算書は297ページであります。金額は9万円と少ないのですが、前年度と同じぐらいの金額、9万9,000円、119番外国人電話通訳事業費であります、これについての、どんなふうなことで対応されているのかを改めてお伺いします。

○分科会長（小平啓佑君） 荒井通信指令課長。

○通信指令課長（荒井 進君） お答え申し上げます。

119番外国人電話通訳事業費についてなのですが、これは119番を受けたときに、外国人の方で日本語がしゃべれない場合、通訳していただく業者と3者通話を行いまして、通報内容を確認し、救急、火災等に対応するシステムでございます。

以上でございます。

○分科会長（小平啓佑君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） そのときの、119番だから一刻を争うようなこともあるかと思います、当然。そうすると、そのタイムラグというのはあるのですか、通訳さんが入るまでの。

○分科会長（小平啓佑君） 荒井通信指令課長。

○通信指令課長（荒井 進君） お答え申し上げます。

若干のタイムラグはあるのですが、業者とつなぐときには、すみません、何か国語だかは忘れてしまったのですが、お待ちくださいというガイダンスが流れるシステムになっております。

以上でございます。

○分科会長（小平啓佑君） 小久保委員。

○委員（小久保かおる君） 291ページのマイナ救急事業費が計上されているのですけれども、よくテレビでマイナカードを出すと、もう病院とか、その方のお薬とかが全部分かるというふうにニュースでも流れていますけれども、栃木市においてはどのような状況なのでしょう、お聞きかせください。

○分科会長（小平啓佑君） 名瀬警防課長。

○警防課長（名瀬恭司君） お答えします。

栃木市でも10月から導入いたしまして、現在運用しているところでございます。

○分科会長（小平啓佑君） 小久保委員。

○委員（小久保かおる君） では、10月から活用しているということで、もうそれが常備、普通にそれが活動しているというふうに受け止めてよろしいのですか。まだまだという感じなのでしょう。

○分科会長（小平啓佑君） 名瀬警防課長。

○警防課長（名瀬恭司君） まだまだ本格的にはというところです。すみません、ちょっとはつきり言えないのですけれども。

○分科会長（小平啓佑君） 本名消防長。

○消防長（本名義人君） 先ほどのマイナ救急ですが、これは総務省消防庁のほうで、現在は実証事業ということでやっております。実証事業といっても、この後、本格的に導入されたときと、それほど変わりはないというか、ほぼ同じことをやっております。そういった中で、導入したというふうに今は言ってもいいのかもしれませんが、取りあえずは実証事業ということで、この実証事業の結果とか、そういうものを精査しまして、今後どうするかということになると思いますけれども、今そういった意味では実験段階といいますか、実証事業の最中でございます。

○分科会長（小平啓佑君） 小久保委員。

○委員（小久保かおる君） 市民の方は、テレビとかで周知というか、そういうのを分かっていると思うのですけれども、栃木市としてはマイナカードを使ってという正確な周知はどんな形になっているのでしょうか。

○分科会長（小平啓佑君） 周知方法について。名瀬警防課長。

○警防課長（名瀬恭司君） やはり救急車に乗った際にお伝えするということもあるのですけれども、あとはインターネット系ですか、ホームページ等でも載せたり、広報紙に載せたりして広めております。

○分科会長（小平啓佑君） 松本委員。

○委員（松本喜一君） 295ページ、主要事務でいくと45ページの消防ポンプ自動車等購入事業費なのですけれども、栃木第11分団第1部に今度は買うということなののですけれども、この消防自動車は、現在買い換えるところは何年ぐらい使用した自動車でしょうか。

○分科会長（小平啓佑君） 関消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（関 宏君） すみません。手元に資料がございまして、またお調べしてご連絡いたします。

○分科会長（小平啓佑君） 松本委員。

○委員（松本喜一君） 分団の車は、昔でいうと20年とか長い間乗っていて、丁寧に乗っているから使えるのでしょうかけれども、緊急自動車ということで、非常に年数が古いときに、いざとなったときに故障して使えないという状況があると困ってしまうのですけれども、ある程度何年たったら買換えという目標は立てているのでしょうか、今でも。

○分科会長（小平啓佑君） 関消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（関 宏君） お答え申し上げます。

栃木市で更新計画をしておりますのは、19年で考えております。先ほど手元に資料がないということだったのですが、先ほどの栃木第11分団第1部の車両につきましては、手元に資料がありまして、令和7年4月1日時点で20年を経過しているという状況でございます。

以上でございます。

○分科会長（小平啓佑君） 松本委員。

○委員（松本喜一君） ということは、昔私もそういう、早めに買換えということなののですけれども、今でも20年なのですか。もう少し15年とか、15年でも長いような気がするのですけれども、その辺の年数を早めに買換えする計画はないのでしょうか。

○分科会長（小平啓佑君） 関消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（関 宏君） お答え申し上げます。

令和3年に消防団の再編成がございまして、消防団の車両の適正化を図ったところでございます。

現時点で古くなった部分は修理、修繕などをして走行距離も短いことから、壊れない消防車両を運用しているところでございます。ただ、委員のおっしゃるとおり、第一線で消火しなくてはならない消防車両ですので、これを検討して、早く更新できるようにはしていきたいと考えております。

○分科会長（小平啓佑君） 松本委員。

○委員（松本喜一君） これ緊急性があって、火事があつたらまずいのでしょうかけれども、いざとなったときに故障して駄目だとか、そういう状況ではない方向で、ある程度、市でも予算は厳しいと言っていますけれども、特にこういう緊急自動車の場合には、予算が厳しいとか、そういうのではなくて、計画性をちゃんと取ってやっていただきたいのですけれども、どうでしょうか。

○分科会長（小平啓佑君） 関消防総務課主幹。

○消防総務課主幹（関 宏君） お答え申し上げます。

委員のおっしゃるように、第一線の車両または各地域に配備されている車両、これが動かないということはとても不安でありますので、これはしっかり計画を立てて更新をしてまいりたいと考えます。ありがとうございます。

○分科会長（小平啓佑君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） 説明書4ページの予算書297ページであります。通信指令システム費であります。昨年度より約500万円アップしているのですが、この要因は何なのでしょう。

○分科会長（小平啓佑君） 荒井通信指令課長。

○通信指令課長（荒井 進君） お答え申し上げます。

指令システムが導入されて、1年間の保証期間がありましたので、昨年6月いっぱいまで保証期間がありました。昨年度の指令システムの保守点検の業務委託料が、昨年は7月から3月までだったのですが、本年は4月から3月までとなりましたので、その分アップしたのが主な要因でございます。

以上でございます。

○分科会長（小平啓佑君） 天谷委員。

○委員（天谷浩明君） そうしますと、その月数ですと多分3か月間ですか、多いのだということなので、それが500万円に相当するということの解釈なのでしょう。

○分科会長（小平啓佑君） 荒井通信指令課長。

○通信指令課長（荒井 進君） すみません。今手持ち資料ではちょっと確認できないので、後ほど回答させていただきます。

○分科会長（小平啓佑君） 分かりました。

ほかにございますか。

副分科会長。

○副分科会長（小太刀孝之君） 分科会説明書が4ページ、予算書は297ページになります。消防水

利施設管理費でございますけれども、説明書のほうには防火水槽、防火井戸の修繕という表現になっておりまして、予算書のほうは防火水槽等撤去工事費となっておりますが、これ両方やられると思うのですけれども、防火水槽を撤去する場所、またその理由についてお伺いいたします。

○分科会長（小平啓佑君） 名渕警防課長。

○警防課長（名渕恭司君） お答えいたします。

撤去する防火水槽は、岩舟町地内の防火水槽であります。敷地をお借りしている都合上、持ち主様から撤去を依頼されました。

以上です。

○分科会長（小平啓佑君） 副分科会長。

○副分科会長（小太刀孝之君） 今まで借りて防火水槽として使用になっていた部分が撤去になった場合、その場合のその周辺の水利というのはどうなるのでしょうか。

○分科会長（小平啓佑君） 名渕警防課長。

○警防課長（名渕恭司君） 撤去する場合であっても、周りの消火栓の位置とか、ほかの水利の位置を確認して、十分に機能が果たせるということで解除という形になります。

以上です。

○分科会長（小平啓佑君） 荒井通信指令課長。

○通信指令課長（荒井 進君） すみません。お待たせしました。先ほどのご質問にお答えします。

保守点検業務委託料が500万円増額ということになります。

以上でございます。

○分科会長（小平啓佑君） では、よろしいですか。

ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（小平啓佑君） ないようですので、消防本部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで執行部の入替えを行います。少しお待ちください。

〔執行部退席〕

○分科会長（小平啓佑君） 次に、会計管理者、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、分科会説明表の会計管理者、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局を御覧の上、所管部分のご確認をお願いします。

また、一問一答により予算書のページ数もお知らせ願います。

○分科会長（小平啓佑君） 副分科会長。

○副分科会長（小太刀孝之君） 分科会説明表の3ページ、予算書177ページになります。選挙管理

委員会運営費のところ、120万円ほど増額になっておりますけれども、これは選挙管理システムのソフトウェアレンタル料が増額になったという認識でよろしいのでしょうか。

○分科会長（小平啓佑君） 佐藤選挙管理委員会事務局次長。

○選挙管理委員会事務局次長（佐藤啓子君） おっしゃるとおりです。選挙管理委員会のシステムのほうが全国統一の標準化システムということに移行いたしましたので、金額のほうも増額となりました。

以上です。

○分科会長（小平啓佑君） ほかにございますか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（小平啓佑君） ないようですので、会計管理者、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

〔執行部退席〕

◎閉会の宣告

○分科会長（小平啓佑君） 以上で当分科会の審査は終了いたしました。

なお、分科会長報告の作成については、正副分科会長にご一任願います。

また、繰り返しになりますが、3月17日火曜日午前10時から、予算特別委員会全体会において分科会長報告、質疑、討論、表決を行いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして予算特別委員会総務分科会を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。

（午後 零時16分）